



ゆめじゅく

2020(令和2)年

4月



〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7-30
TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
E-mail : seto@city.niihama.lg.jp



4月の予定

★ゆめじゅく 編集委員会

6日(月) 13時30分～

★移動図書館 青い鳥号

1・15日(水) 30日(木)

14時00分～14時40分

★木曜会

16日(木) 19時30分～21時00分

月
日
曜
日
直



ケーキの切れない非行少年たち

ベストセラーになった『ケーキの切れない非行少年たち』。

右の絵は、精神科医である著者の宮口幸治先生が医療少年院に勤めていた時、「ケーキを三等分する」という課題に対して在院中の少年が出した答えの例です。驚くべきことに、殺人事件など凶悪犯罪を起こした中学生・高校生年齢の非行少年たちの多くは、「僕は優しい人間です」と答えるのです。少年院には、

「簡単な足し算や引き算が出来ない」「漢字が読めない」「ケーキを等分に切る」ことすら出来ないなど、認知機能に問題がある少年が、大勢いるのです。認知力の弱い彼らに被害者の気持ちを考えさせるような従来の矯正教育を行っても効果がないことは歴然です。

本来なら福祉によって救われるべき「認知機能に問題がある子ども」の行き場が、少年院になっている現実！

問題の根深さは普通の学校でも同じです。漢字が覚えられない、計算が苦手、不注意が多い、指示が通らないといった原因には、見る力、聞く力、想像する力といった認知機能の弱さが背景にある場合があります。そこで、著者は、このような子どもが学校や社会で困らないために3方面(社会面、学習面、身体面)から支援するための包括的プログラム「コグトレ」を開発しました。これによって、「気づかれていない子どもたち」の認知機能を向上させ、問題の発生を軽減させることを提唱しており、著者の「今の社会を変えたい」という想いと危機感を感じました。

非行少年が「三等分」したケーキの図

